

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	保健課(健康推進担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	広域救急医療確保対策事業	事業番号	12070

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-1	消防・救急体制の充実
	施策目標	市民と行政が一体となった、消防・救急体制が確立したまち	

2 事務事業の目的

目的	根室・釧路管内の救急医療体制の安定的な確保のため、年間を通じて入院治療を要する重症救助患者の医療を円滑に行う。
成果	搬送時間の短縮だけでなく、救急現場に医師と看護師を投入することで、初期治療開始時間を早め、救命率を高めることができる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

	年度	概要						
	事務事業の概要	27	道東圏基地病院 釧路市立病院、基幹連携病院 釧路孝仁会記念病院 運行範囲 釧路圏、根室圏基地病院から約30分で到着できる、半径100キロ圏内 事業費については、釧路圏、根室圏各市町村負担金。負担金については、設備投資、建設資金 平成27年度運航実績 根室市 43回					
28		道東圏基地病院 釧路市立病院、基幹連携病院 釧路孝仁会記念病院 運行範囲 釧路圏、根室圏基地病院から約30分で到着できる、半径100キロ圏内 事業費については、釧路圏、根室圏各市町村負担金。負担金については、設備投資、建設資金						
29		同上						
30		同上						
31		同上						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		3,216	3,216	3,216	3,216	3,216	16,080
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源		3,216	3,216	3,216	3,216	3,216	16,080
人員(人工)		0.08	0.08	0.08	0.08	0.08		
職員費(人員×8,081千円)		646	646	646	646	646	3,230	
総事業費		3,862	3,862	3,862	3,862	3,862	19,310	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	ドクターヘリ運行回数	43回	60回	60回

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	根室・釧路管内の救急医療体制の安定的な確保、二次保健福祉医療圏を超えて連携協力し、年間を通じて全ての日、全ての時間帯における入院治療を要する重症救助患者の医療を円滑に行うことができる。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 搬送時間の短縮だけではなく、救急現場に医師と看護師を投入することで、初期治療開始時間を早め、救命率を高めることができる。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 搬送時間の短縮だけではなく、救急現場に医師と看護師を投入することで、初期治療開始時間を早め、救命率を高めることができる。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 搬送時間の短縮だけではなく、救急現場に医師と看護師を投入することで、初期治療開始時間を早め、救命率を高めることができる。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 道東ドクターヘリ運航調整委員会との連携による。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 道東ドクターヘリ運航調整委員会との連携による。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 根室・釧路管内の救急医療体制の安定的な確保のため、年間を通じて入院治療を要する重症救助患者の医療を円滑に行う。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 引き続き関係機関等と連携し、円滑に事業推進を図りたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 根室・釧路管内の救急医療体制の安定的な確保のため、年間を通じて入院治療を要する重症救助患者の医療を円滑に行い、初期治療開始を早めることにより致命率を高めることができることから引き続き事業を実施する。

作成年度

平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	消防本部総務課(総務担当)	事業区分	■実施計画 □重点プロジェクト
事務事業名	防火水槽新設事業	事業番号	12354

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-1	消防・救急体制の充実
	施策目標	安全・安心に暮らせる都市基盤の充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	市民が安全・安心に生活できる環境を作るため、消防水利の比率が低い地域で火災防ぎよ上有効な場所に消防水利を整備し、多様化する各種災害に対応できる体制づくりを推進する。
成果	消防水利の比率を上げることにより、消火活動を迅速・的確に行え、被害を軽減することができる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	浜松地区1基・長節地区1基、計2基の防火水槽を新設						
	28	東梅地区1基・厚床地区1基、計2基の防火水槽を新設予定						
	29	昆布盛地区1基・厚床地区1基、計2基の防火水槽を新設予定						
	30	瑠璃瑠地区1基・市街地区1基、計2基の防火水槽を新設予定						
	31	市街地区に2基の防火水槽を新設予定						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		18,846	21,690	21,690	21,690	21,690	105,606
	内訳	国庫支出金	5,386	5,386	5,386	5,386	5,386	26,930
		道支出金						
		地方債	13,400	16,300	16,300	16,300	16,300	78,600
		その他						
		一般財源	60	4	4	4	4	76
		人員(人工)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
		職員費(人員×8,081千円)	81	81	81	81	81	405
	総事業費	18,927	21,771	21,771	21,771	21,771	106,011	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
	合計/年							

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	防火水槽整備数(96基)	76基	86基	96基
	消防水利の比率	79.4%	83.5%	87.6%

**事務事業改善策
(継続事業のみ記入)**

本事業については前期計画からの継続事業であり、優先順位に基づき計画的に進行しており、現状において変更部分が無く特に改善する必要も感じられない。

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	消防水利が充実することにより消防力の強化が図られ、市民の安全・安心な環境が確保される。
--------------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 消防水利の設置比率に対し、強い市民要望がある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市が消防責任を有しているため。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 消防水利設置比率の低い地域を優先し事業を推進しているところであり、当該地域での火災発生時における対応力強化の面から早期設置の必要がある。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 消防水利の基準に基づき増強を図っている。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 設置比率の低い地域から優先的に計画を進めていることにより公平性は保たれている。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 火災発生時における消防力を強化することを目的とし、現地調査に基づき地域の実情に応じた必要基準数を算定し、計画的に推進している。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<input checked="" type="checkbox"/> 【計画どおり実施】 防火水槽の設置に当たっては、設置比率の低い地域から優先的に計画を推進されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 現行の更新計画に基づき設置比率の低い地域を優先とし、計画的に推進したい。

作成年度

平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	消防本部総務課(総務担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	消防車輛整備事業	事業番号	12429

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-1	消防・救急体制の充実
	施策目標	安全・安心に暮らせる都市基盤の充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	市民が安全・安心に生活できる環境を作るため、消防設備の整備により、複雑多様化する各種災害に適切に対応できる体制づくりを推進する。
成果	消防設備の計画的な更新を図ることにより、救急・消火活動を迅速・的確に行え、被害を軽減することができる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概 要						
	27	高規格救急自動車1台更新						
	28	水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型・2,000ℓ)1台更新予定						
	29	水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型・7,000ℓ)1台更新予定(緊急消防援助隊設備整備補助)						
	30	水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型・3,000ℓ)1台更新予定						
	31	救助工作車1台更新予定						
事業費と内訳	(単位:千円)	H27	H28	H29	H30	H31	総事業費	
	事業費	36,613	55,774	54,119	66,522	131,786	344,814	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債	33,000	52,800	38,100	63,300	127,800	315,000
		その他			12,629			12,629
		一般財源	3,613	2,974	3,390	3,222	3,986	17,185
		人員(人工)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
	職員費(人員×8,081千円)	81	81	81	81	81	405	
	総事業費	36,694	55,855	54,200	66,603	131,867	345,219	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
	合計/年							

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	消防車両台数	13台	13台	13台
	救急自動車台数	3台	3台	3台

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

本事業については前期計画からの継続事業であり、優先順位に基づき計画的に進行しているところであり、現状において変更部分が無く特に改善する必要性も感じられない。

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	消防設備の計画的な更新により消防力の強化が図られ、市民の安全・安心な環境が確保される。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 計画的な消防設備の更新により市民に安心感を与える。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市が消防責任を有しているため。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 車輛の更新基準は無いが、全国的に消防車輛は25年・救急車輛は10年程度が更新の目安と言われており、今回の更新計画は目安を超えており、更新することにより救急活動や火災発生時における対応力強化が図られる。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 消防車輛は25年・救急車輛は10年程度を超えた車両の更新ため適切と考える。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 計画的に更新しており公平性は保たれている。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 計画的な更新を図ることにより、車輛の信頼性が保たれる。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<input checked="" type="checkbox"/> 【計画どおり実施】 一定程度、更新基準に関する考え方を整理した上で、計画どおりに事業を推進されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 更新基準について、消防車輛25年、救急車輛10年を目安とし、使用頻度や劣化等を勘案しつつ計画どおり事業を推進したい。

作成年度

平成27年度